



平成29年1月10日
横浜市立金沢小学校
横浜市金沢区町屋町26-26
☎781-2401

新たなよさの発見を



学校長 高木 篤子



子どもたち一人一人が力強くはばたく年となりますように

年のはじめに、「今年はこれがんばろう。」「このような年にしたい。」などと、1年の抱負をもつことでしょうか。子どもたちは新年のめあてをどのようにご家庭や学校で話すのでしょうか。ぜひ、生き生きとした表情で思いを伝えてほしいです。

学校では、進級・進学まであと3ヶ月となりました。自信をもって次のステップに進むために、各学年のまとめとなるこの時期を大事に過ごしていきます。

子どもたちが前向きな気持ちで進もうとするとき、自分の力を信じること、生かそうとすることが原動力となります。その根底を自らのよさや価値を肯定できる感情である自己肯定感が支えています。

「あなたのよいところは、どんなところですか。1分間、目を閉じて考えてください。

いくつ自分のよいところを挙げられますか。」

朝会の折に、子どもたちに投げかけてみたいと思います。一つよいところを挙げられて子が次は二つ、五つよいところを挙げられた子が次は六つと、自分を見つめながら段々と増やしていくことを目指しましょう。機会をとらえて、時間をかけてじっくり考えることも必要だと思います。

子どもが自分のよさに気付くためには、もちろん周りの大人や友達との関わりが大切です。保護者の皆様は、お子さんのよさをたくさん認め、お話していますか。きっと、その時々のがんばりを認め、その子に合った言葉で伝えていることと思います。

学校でも、学級や学年の枠を超えて子どもたちのよさをとらえて伝えるように努めています。学校生活や授業の場面で、子どもたちが互いのよさを認め合うことをこれからも大切にしていきます。

新しい年、子ども一人一人が自分の新たなよさを発見できますように。日々の積み重ねを大切にしながら自己肯定感を高め、その子らしくはばたく年となりますように。

今年も、どうぞよろしくお願ひいたします。